

国語

(小学校第4学年)

注 意

- 「はじめ」の合図があるまで、中の問題を見てはいけません。
- 下のらん^{せき}に、組、出席番号、名前を書きましょう。
- 「はじめ」の合図があつたら、別に配られているかい答用紙^{べつ}に、組、出席番号、名前を書き、「A問題（き本）」からはじめましょう。
- 問題用紙は、全部で14ページあります。
「A問題（き本）」は、8ページで、問題は $\boxed{五}$ まであります。
「B問題（活用）」は、6ページで、問題は $\boxed{二}$ まであります。
- 問題に取り組む時間のめやすは、「A問題」が25分、「B問題」が15分です。
時間に気をつけてときましょう。
早く終わったら、先に進んでといても、もとにもどってといてもかまいません。
- 答えは、かい答用紙の決められた場所に、はっきりと書きましょう。
- 印刷^{いんさつ}がはっきりしなくて読めないときは、だまって手をあげましょう。
問題の内ようなどのしつ問には答えられません。

	問題番号	時 間
A問題（き本）	$\boxed{一} \boxed{二} \boxed{三} \boxed{四} \boxed{五}$	25分
B問題（活用）	$\boxed{一} \boxed{二}$	15分
合 計		40分

4年	組	番	名前
----	---	---	----

A 問題

(二十五分)

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

わたしが子どものころ、戦争せんそうがありました。

わたしの家は、※ 空しゅうで焼やけてしまったので、いなかの町に引っこしていきました。

新しく入った学校の三年一組に、シンペイちゃんという、いたずらっ子がいました。

シンペイちゃんの席せきは、わたしのとなりでした。

「おれ、勉強だめなんだ。よろしくな。」

初はじめての日、シンペイちゃんは、※ 人なつつこそうに言いました。そして、

「これ、やるよ。」

と、机つくえの上に、緑色のものを置おきました。

なんだろうと思って、顔を近づけたら、とたんにそれが飛とびついてきたんです。

「きやあっ！」

わたしは、（ ）して、飛とび上がってしまいました。

どつと笑わらい声こゑが起おきました。

シンペイちゃんは、急いでカエルをつかまえました。

「なんだ、こんなかわいいものが、こわいんかよ。」

そう言いながら、指先で、カエルの頭をやさしくなでました。

わたしは、なかなかふるえが止まりませんでした。きつと、顔も真まつ青さおだったと思います。あんなに（ ）したことは、ありませんでした。

でも、シンペイちゃんが、意地悪いじわるでそんなことをしたのではないのは、やがてわかりました。都会とかいから来きたわたしを、本当に※かんげいするつもりで、いいものをくれたらしいのです。

（長崎源之助ながさきげんのすけ「えんぴつびな」による 一部表記を改めたところがある）

※ 空しゅう・・・ ひこうきで、地上の目ひようをねらってばくだんを落とすこと

※ 人なつっこい・・・ だれとでもすぐになかよくなれること

※ かんげい・・・ よろこんでむかえること

問一 文章中の（ ）には、同じ言葉が入ります。（ ）に入る言葉として、もつともよくあてはまるものを、次の

ア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

ア うきうき

イ くよくよ

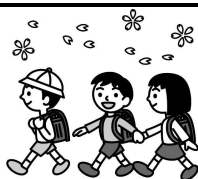
ウ ほっと

エ びっくり

問二 この話の中では、「カエル」のことを、「くのもの」というように、三通りの書き方をしています。それらをすべて書きぬきましょう。

小学生のつとむさんは、学校でくばられた市役所からの交通安全だよりを読んで、歩く人が道をわたる時に大切なことについて考えました。次の【交通安全だよりの一部】を読んで、下の問いに答えましょう。

交通安全だよりの一部



へいせい
平成31年3月
ひむか市役所

春の交通安全運動がはじまります

4月になると、全国交通安全運動がはじまります。みんなで交通ルールをまもり、交通事故ゼロをめざしましょう。

ひむか市の交通安全テーマ

- 大人みんなで小学生や中学生の登下校をまもる。
- 子どもや高れい者は安全な歩行を行う。
- 車を運転する人はシートベルトを着用する。
- 飲酒運転をぜったいにしない。



けいさつかんの方に聞いてみました

～道ろで気をつけることは何ですか？～



歩行者（歩く人）と車とが交通事故をおこさないようにするために、歩行者と運転する人の両方が気をつけてほしいと思います。

小学生などの子どもさんや高れい者が道をわたる時は、できるだけ信号きのあるおうだん歩道をわたるようにしましょう。また、車を運転する人は、とくに、交差点やおうだん歩道があるところでの歩行者に気をつけ、一時ていしの場所では、しっかり一時ていしをしましょう。

小学生のとび出しの事故も多いです。道をわたる時の左右の安全かくにんもしっかりしてください。

問一

つとむさんは、【交通安全だよりの一部】を読んで、歩く人が道をわたる時に大切なことを、二つ見つけました。その二つのことは、どのようなことでしょうか。【交通安全だよりの一部】からさがして書きましょう。

問二

国語じてんで「着用」を調べる場合、次のア～エのうち、どの言葉のあとに書いてあるでしょう。一つえらび、記号で答えましょう。

- エ ウ イ ア
- 長男 中心 着信 着陸

【三】 つよしさんは、クラスみんなの前で、「わたしの宝物^{たから}」という題でスピーチをしました。次は、その時の【スピーチ原こう】です。これを読んで、下の問いに答えましょう。

【スピーチ原こう】

この竹とんぼが、ぼくの大切な宝物です。どうしても思いますか。

理由は、春休みに、おじいちゃんといっしょに作ったからです。おじいちゃんは、子どものころ、竹とんぼを作って遊んだと言っていました。竹馬や竹でっぼうも自分で作って遊んだそうです。おじいちゃんは、自分でおもちゃを作ることができるので、おもちゃ屋さんみたいです。

みなさんは、竹とんぼの作り方を知っていますか。

まず、十二センチメートルくらいのじょうぎみたいな竹の真ん中に、※きりを使ってあなをあけます。次に、竹の表面を、ヘリコプターのプロペラ部分のようにけずります。さい後に、竹ひごを真ん中のあなにさして、できあがりです。

ぼくは、休みの日に竹とんぼをとばして遊んでいます。みなさんも竹とんぼを作ってみませんか。自分だけの宝物ができると思いますよ。

※ きり・・・ 木などにあなをあけるための道具

問一 まさとさんとひとみさんは、つよしさんのスピーチのよかったところについて話し合いました。(①)(②)

にあてはまる言葉を、【スピーチ原こう】からさがして書きましよう。

まさとさん

なぜ宝物にしているのかという(①)
をせつ明しているところがよかったね。

ひとみさん

竹とんぼの(②)をせつ明している
ところもいいね。

問二 スピーチを聞いているときに大切なこととして、もっともふさわしいものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

ア もっと聞きたいことや感想を考えながら聞く。

イ 話す人が話している間、友だちと感想を言い合いながら聞く。

ウ 話す人の方をできるだけ見ないようにして聞く。

エ 話す人が答えられないようなしつ問を考えながら聞く。

【四】 次の文章は、はるこさんが四年生でがんばりたいことを書いた【作文の下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【作文の下書きの一部】

①四年生でわたしのがんばりたいことは、学級での係活動です。②わたしは、三年生るとき、係活動で学級みんなのためになることがあまりできませんでした。

そこで、係を決める前に、どんなことをしたらよいか、先生にそうだとすると、

③「はるこさんが好きなことで、みんなが楽しく生活できるといいですね。」

と、話してくださったので、わたしの花が好きなところをいかせばよいと気づいたので、いつも花がある学級にしたいと思いました。

く（下書きがつづく）

問一 に入る言葉として、もつともよくあてはまるものを、次のアくエから一つえらび、記号で答えましょう。

ア もしも イ しかし ウ なので エ だから

問二 はるこさんは、下書きを読みなおして、書きなおしたほうがよいところがあることに気づきました。書きなおしたほうがよいと思った理由と、どのように書きなおしたらよいかせつ明したものととして、もつともよくあてはまるものを、次のアくエから一つえらび、記号で答えましょう。

ア ①の文のさいしよに、〈わたしは、〉がないので、〈わたしは、〉を書きたしたほうがよい。

イ ②の文は、自分の意見を言い切っていないので、「あまりできなかった。」としたほうがよい。

ウ ③の文は、「くので」がつづいて長くなり、分かりにくいから一文を分けて書いたほうがよい。

エ ③の文の「く」の部分は、先生が話した言葉だから、「話してくださった」まで「く」に入れたほうがよい。

問題**五**は、次のページからはじまります。

五 次の問いに答えましょう。

問一 友だちと話す時に、ものをさししめす場合、次のア～ウの言葉を、自分から近いじゅんにならべましょう。

ア あれ イ これ ウ それ

問二 次の――線部の言葉をローマ字になおして書きましょう。

家で おんがく
音 楽 をきく。

問三 次の(1)～(6)の――線部の漢字はひらがなに、ひらがなは漢字になおしましょう。ただし、漢字になおすとき、送りなががあるものについては、送りがなも書きましょう。

(1) 遊具を使う。

(2) ドアを開ける。

(3) 南東の風がふいてくる。

(4) 合図のベルをならす。

(5) こんしゅうの行事をかくにんする。

(6) こまかいところまで気をつける。

問四 次の漢字の黒くぬった部分は、何画目に書きますか。数字で答えましょう。

歌

問五 毛筆で「火」という字を書きます。黒くぬった部分（四画目）を書くときに気をつけることとして、もっともよくあてはまる

ものを、あとのア、エから一つえらび、記号で答えましょう。

火

- ア だんだん力を強めていき、筆を止めずに、力を強めながら右にはらう。
- イ だんだん力を強めていき、一度筆を止め、力を強めながら右にはらう。
- ウ だんだん力を強めていき、筆を止めずに、力を弱めながら右にはらう。
- エ だんだん力を強めていき、一度筆を止め、力を弱めながら右にはらう。

B 問題

(十五分)

□ 前田さんの学級では、「みんなが正しくろうかを歩行できるようにするためには、どうすればよいか」という議題ぎだいで話し合いをしています。次の【話し合いの様子】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

前田	今日の司会 <small>しかい</small> をする前田です。これから、学級会の議題「みんなが正しくろうかを歩行できるようにするためには、どうすればよいか」について、話し合います。何か意見はありませんか。
寺町	わたしは、正しいろうか歩行ができていた人を見つけて、しょうじょうをあげてほめたいと思います。
古川	ぼくは、できていない人がいたら、やり直しをさせたいと思います。
山内	ぼくは、できていた人を見つけて、生活係が新聞を作って、それに書いてほめたいと思います。
前田	① しょうじょうをあげる、やり直しをさせる、新聞に書くという意見が出ました。それぞれの意見について、しつ問や考えたことを発言してください。
高木	寺町さんにしつ問です。だれがしょうじょうを書くのですか。
寺町	生活係にたのんで書いてもらったらいいと思います。
石丸	寺町さんにしつ問です。だれが見つけるんですか。

寺町	みんなで見つけたらいいと思います。見つけたら、その人の名前を紙に書いて、箱に入れたらいいと思います。そして、生活係が箱の中を見て、名前が書いてあった人に、しようじょうを書いたらいいと思います。
高木	わたしは、寺町さんや山内さんのように、できていた人を見つけてほめたらいいと思います。しようじょうをもらったり新聞にのったりすると、うれしいからです。
前田	やり直しをさせるという意見もありますが、他のみなさんはどうですか。
石丸	ぼくは、やり直しをさせるという意見に反対です。「やり直し。」と言われたら、いい気持ちがしないし、やり直しをせずに、自分たちで正しいるか歩行ができるようになりたいからです。
古川	たしかに、そうですね。やり直しをせずにできるようになる意見にさんせいします。
山内	ぼくは、新聞にのせるという意見を出しましたが、生活係の大変さ ^{たいへん} を考えると、しようじょうをわたすことだけでいいと思います。
高木	わたしは、しようじょうと新聞の両方の意見を出しましたが、今の山内さんの意見にさんせいします。
全員	(これまでに出了た意見に全員さんせいする)
前田	それでは、決まったことをたしかめます。正しいるか歩行ができていた人をみんなで見つけて、その人の名前を紙に書いて箱に入れます。そして、生活係が箱の中を見て、

②

問題一の問いは、次のページです。

問一 前田さんの

①

の発言は、司会者として、どのようなところがよいでしょう。もつともよくあてはまるものを、次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

ア 話し合いの進め方についてたしかめている。

イ 発言する人を指名している。

ウ それまでに出了意見を整理してたしかめている。

エ よく分からないことを自分でしつ問してたしかめようとしている。

問二

②

には、話し合いで決まったことが入ります。

次のア～エから一つえらび、記号で答えましょう。

②

に入る内容として、もつともふさわしいものを、

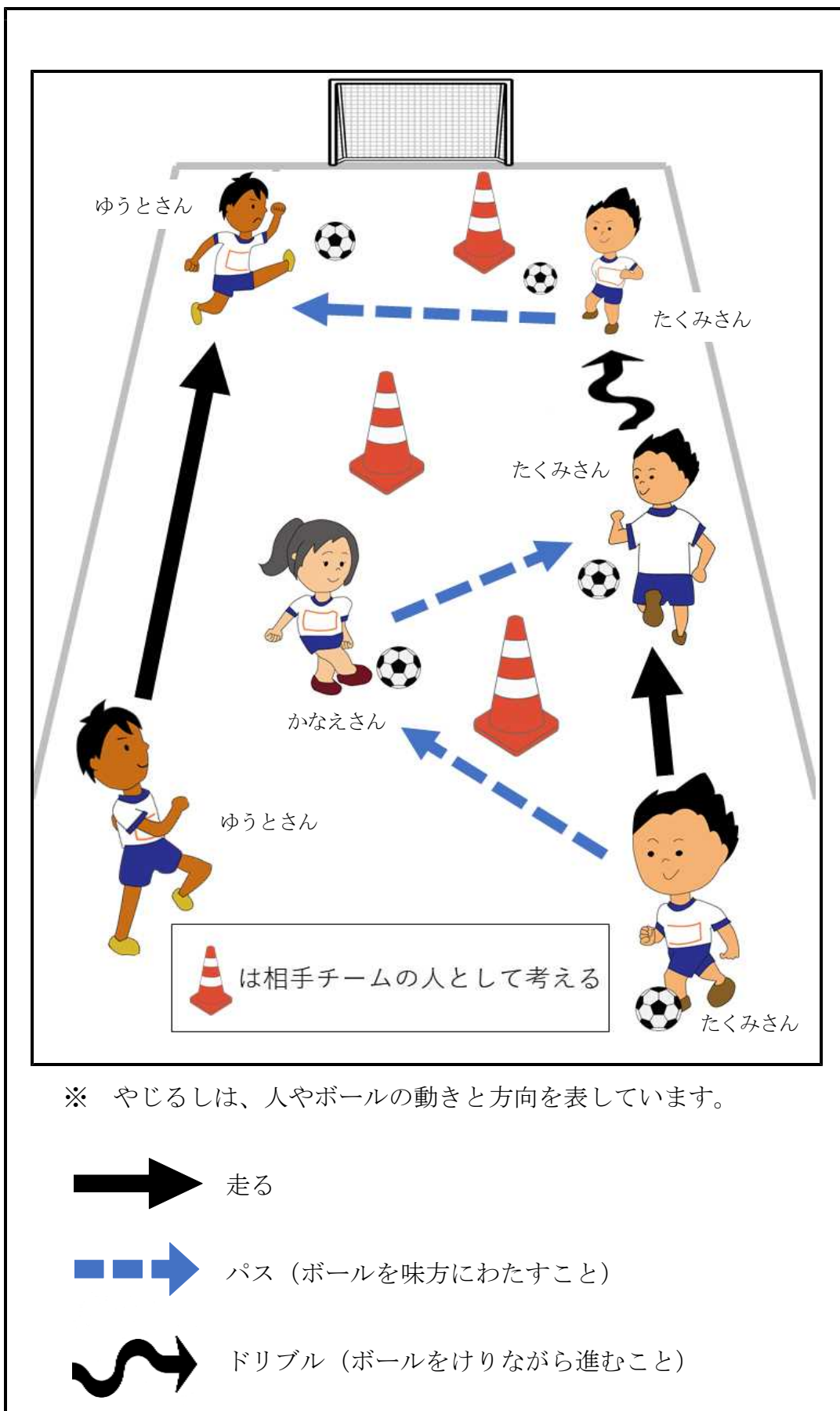
ア できていなかった人に、やり直しをさせます。

イ しようじようを書いて、その人にわたします。

ウ 新聞でしようかいたします。

エ 先生に知らせます。

【たくみさんのチームの作せん図】



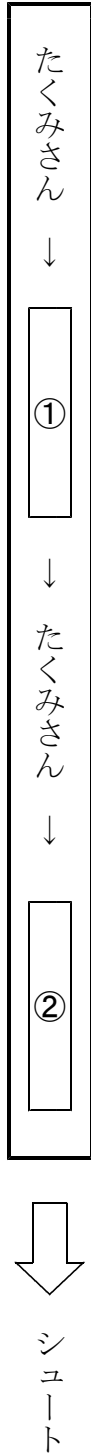
❖ たくみさんのチームは、たくみさん、かなえさん、ゆうとさんの三人です。

二 たくみさんの学級では、体育のサッカー型ゲーム^{がた}の学習で、せめ方の練習をしています。次は、たくみさんのチームのせめ方についてまとめた作せん図です。人やボールの動きを考えて、あとの問いに答えましょう。

問一

たくみさんのチームでは、ボールをわたすじゅん番を次のように整理せいりしました。次の①、②にあてはまる人の名前をそれぞれ書きましょう。

【ボールをわたすじゅん番】



問二

たくみさんのチームでは、チームのせめ方を次のようにまとめました。A、Bに入るふさわしい内容をあとのじょうけんに合わせて書きましょう。

ただし、①、②には、問一と同じ人の名前が入ります。

まず、コートの右がわにいるたくみさんが、中央にいる①にパスをします。その後、たくみさんは、ゴールに向かって走ります。

次に、

A

。

そして、たくみさんは、ドリブルをしてゴールに向かいます。コートの左がわにいる②も、たくみさんの動きに合わせてゴールに向かって走ります。

それから、

B

。

さい後に、

②

は、ゴールに向かってシュートします。

〔じょうけん（書くときのやくそく）〕

○ 「だれが」、「だれに」、「どうする」ということが分かるように、人の名前を入れて書くこと。